

CONTENTS / 目次

広報かのや No.306 October 2018

- 04 特集
若い力をまちの形に
- 08 温故写真／カノヤタイムトラベル
- 09 夢のかけはし「今掛 富代子 さん」
- 10 みんなの Hot News
- 12 直行バスで便利にお出掛け
- 14 自転車生活始めませんか。
- 18 知って役立つ情報掲示板
- 22 すこやか直幸便／
休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 23 スゴいぞ！〇高／おしごとの時間
- 24 市民のひろば
- 25 みんなのフォトネタ
- 26 カノスポ
- 28 プレゼント・映画情報



今月のカバー



「若」者のアイデアで未来を描こう

今号の特集は、「若い力」。8月に行われた「高校生議会」や申良商業高校の取り組みにスポットをあて、市内の高校生の考えやアイデアに注目します。現在、市では鹿屋の未来を描く高校生の「アイデア」を募集中。高校生の皆さんの想像力豊かな「ひらめき」をお待ちしております。



1本の木からは、500～700gの実が30個ほど採れる。11月の鹿屋市農業まつりでも販売予定です。



大隅鹿屋パイヤ研究会

平成29年に発足した「大隅鹿屋パイヤ研究会」では、市内の5軒の農家が「グリーンパイヤ」を生産し、産地化を目指しています。グリーンパイヤとは、パイヤの木になる実を熟す前に収穫した「野菜」。含まれる「パパイン酵素」は、たんぱく質・糖分・脂質を分解し、熱しても栄養価を失わないので、ダイエットや免疫力強化などに効果があるといわれています。また、味にクセがなく様々な料理に使いやすいのも特長です。秋はグリーンパイヤの収穫時期。集まったメンバーは実の成長を確認し合い、パイヤを使った加工品の話などに花を咲かせていました。様々な可能性を秘めた鹿屋の新規作物・グリーンパイヤの挑戦は始まったばかりです。